

# Ⅰ 学校教育目標・学校経営方針

## Ⅰ 学校教育目標

人や社会とのつながりの中で自分らしく生きる子どもの育成

## 2 めざす子ども像・教師像・学校像

### (1) めざす子ども像

- ・ 自分を大切し、他者を思いやる子ども
- ・ 個性を伸ばし、自己肯定感を高める子ども
- ・ 人や社会とのつながりの中で学ぶ子ども

### (2) めざす教師像 ～家庭・地域に信頼される教師～

- ・ 子どもに寄り添い、信頼される教師
- ・ 心身ともに健康で人間性豊かな教師
- ・ 高い志をもち、学び続ける教師

### (3) めざす学校像 ～家庭・地域とともにある学校～

- ・ 明るく楽しく通いたくなる学校
- ・ 社会性や基礎学力を育む学校
- ・ 地域に愛され、応援される学校

## 3 学校経営方針

子どものよさや可能性を引き出す、新たなスタイルの学校をつくる

- ◆ 「できた!」「わかった!」「やりとげた!」などの多くの成功体験や達成感を味わわせる。
- ◆ 「学校や子どもはこうあるべき」という固定観念からの脱却 と転換を図る。

## 4 学校経営の重点

**重点1** 子どものペースや主体性を尊重

**重点2** わかる授業・楽しい授業の実践

**重点3** 人や社会とつながりつなげる

**土台** 働きがいを感じ、互いに高め合える職場づくり

## 5 具体的な取組

**重点1** 子どものペースや主体性を尊重

### ①実態を考慮した特別の教育課程の編成

- ・ 年間の総授業時数と年間授業日数を縮減する。
- ・ 登校時刻は9時20分、下校時刻は15時とする。

## ②クールダウン等ができる場の確保

- ・ 気持ちを落ち着かせる時間を保障する。
- ・ リラックスできる空間（プレイルームや教室脇のワークスペース）をつくる。

## ③子ども発案の行事や活動の推奨

- ・ 学校行事等を精選する。
- ・ 子ども発案の行事や活動等を促し、具体化に向けた支援を行う。

## ④自己決定や自己選択の機会の尊重

- ・ 子どもが自分で考えて、自分で決めること、そして、決めたことを尊重する。
- ・ 過度な同調圧力や正解主義からの解放をめざす。

## ⑤個別指導を含むきめ細かな支援

- ・ 全教職員が児童生徒の状況を把握できるよう情報共有の場を設定する。
- ・ 少人数指導を可能にする教職員の配置や体制を工夫する。

## ⑥多様な立場からの人的・物的な支援の活用

- ・ 専門的な見地（SC、SSWC等）からの支援を活かし、児童生徒理解を促進する。
- ・ 関係機関（フリースクール、原籍校等）との情報連携を図る。

## **重点2** わかる授業・楽しい授業の実践

### ①子ども主体の学びの保障

- ・ 一人ひとりに応じた目標設定や指導方法、指導体制を工夫する。
- ・ 子どもに寄り添い、「できた」「わかった」を実感できる授業づくりを進める。

### ②「学び直し」等に充てる時間の確保

- ・ 学び直し等に充てる教科「きらりタイム」を新設する。
- ・ 学習に必要な準備状態の把握と授業における適時適切な学び直しを行う。

### ③興味関心から始まる探究的な学習の充実

- ・ 子どもとの対話等により、興味関心や得意分野を引き出す。
- ・ ワクワクしながら、楽しく学べる時間と場を提供する。

### ④夢や志を育むキャリア教育の推進

- ・ 実社会とのつながりや交流の機会を設定する。
- ・ 将来の職業観や生き方を考えさせるキャリア教育を推進する。

### ⑤ICT等の効果的活用

- ・ 1人1台端末等の活用により個別に最適で効果的な学びを支援する。
- ・ 登校できない時でもオンラインで学習の継続が可能なシステムを整備する。

## ⑥読書活動の推進

- ・ プレイルーム（兼 図書ルーム）の環境構成を工夫する。
- ・ 興味関心のある分野を核にしなが、視野を広げていく手立てを講じる。

## 重点3 人や社会とつながりつなげる

### ①地域の素材を活かした学びの推進

- ・ 地域の歴史や文化、自然環境、産業等を活かした学習活動を推進する。
- ・ 民間企業や協力団体等からの支援を活かす。

### ②人と関わる機会の創出

- ・ 異学年交流や校種間交流を推進する。
- ・ 校内外で他者と関わり、つながる機会を意図的に設定する。

### ③複数担任・教科担任制の導入

- ・ より多くの大人と関わる機会をつくり、小さな社会を体感させる。
- ・ 各教科の専門性や魅力、楽しさに触れさせる。

### ④五感を伴う体験活動の充実

- ・ 体をいっぱいに使った活動、汗をかく活動を推進する。
- ・ 生活体験や自然体験、社会体験など、直接体験を充実する。

### ⑤コミュニケーションスキルの育成

- ・ 多様な価値観や行動パターンに対する理解を促進する。
- ・ 具体的な場面をもとに、その場にふさわしい対人スキルの獲得をめざす。

### ⑥自他の生命尊重

- ・ いのちの教育の推進：かけがえのない自他の存在に気づかせる。
- ・ 規則正しい生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん）の定着を図る。

## 土台 働きがいを感じ、互いに高め合える職場づくり

### ①不登校対策の拠点校という使命を自覚し、切磋琢磨しながら高い専門性を身に付け、成長できる職場づくり

- ・ 教職員研修を意図的・計画的に実施する。

### ②校種や職種の枠を超えた職員間のコミュニケーションを大切にし、親和的で、協働的な職場づくり

- ・ 組織的な支援体制を構築する。